

## 「論作文」を書く前に

### I 「論作文」で何をみようとしているのか

教員採用試験の論作文では、人間としての幅の広さや見識、論理的な思考力が備わっているかを見るときともに、教師としての意欲や課題解決のために具体的な見通しをもつことができるかを見極めるために行うと考えられる。これらは主に知識を問う教職教養や専門科目の筆記試験では計ることのできないものである。

#### 1. 自分の人間性や教育観を伝えるために

したがって、論作文には自分の人間性や教師としての持ち味が何かを、試験官に十分に分かってもらえるように論述することが大切である。知識を披歴しようと自分を飾ったり、借り物の文章を並べたりするのではなく、自分の言葉で誰にでも分かりやすく、筋の通った文章を心がけるようにしなければならない。

しかし、限られた時間の中で十分に整理された分かりやすい文章を書くためには、書き方のスキルを身につけること、教育課題に対する自分の考え方を整理しておくことが必要である。自分の学校教育に携わろうとする熱意や使命感を誠実に伝えるために「論作文の書き方」を練習するのであって、現実の姿よりうまく書いて合格できるようにするという考え方では主客転倒である。

#### 2. 現在の教育課題は何かを理解し自分の考えをもつ

現場の第一線で直接子供たちの教育に携わることになるあなたの方に対して、各自治体の教育委員会は、現在の教育課題をどうかして解決してもらいたい、という切実な願いや期待をもっている。日ごろから新聞等で取り上げられる教育課題に関心を持ち、その原因や背景を理解し、どのような解決の方法が考えられるか、自分の考えを文章化しておきたい。

### <練習>自分の考えを書いてみよう

- (1) 下記の資料1の文章を読んで、教師としてどう考えるか自分の考えを述べなさい。(120字程度で書いてみましょう。)

<p>いじめ防ぐアンケートのはずが</p> <p>中学生 田近 翼 (神奈川県 15)</p> <p>「信頼できる人は誰ですか？」 というものだ。妹は「3人」と書き、その友達の名前を書いた。同じように書いた他の子もいたようだ。</p> <p>しかし、そのように書いた子に担任の先生は怒ったそうだ。「なぜクラス全員を信用できないのですか？ それは差別です」。妹はもちろん納得できるわけではなく、「差別ではなく区別ではないのですか」と言った</p>	<p>が、先生には「こちらも一緒に」と言われたらしい。</p> <p>僕は類義語というものを習ったが、それはあくまで同じ類であって同じ義ではないのではないか。本来ならこのアンケートは、0人と答えた子の話を聞いていじめを見つかるものだと思う。ただでさえ、いじめられている子は言いつらい。先生が的を射ていない発言をするとさらに言いくくになり、アンケートが逆効果にならないか不安だ。</p> <p>このようなことでは、将来、良い先生が減ってしまい、教育水準の悪循環が生まれるのではないか。これから大人になっていくが、様々な問題を未来に抱える日本が心配でならない。</p>
--	--

資料1

朝日新聞 H30年3月28日朝刊より

【回答例】

大きく2点の問題がある。意義を理解せずに回答を表面的・一面的にとらえ硬直した対応に終始する教師であり、また、教師自身の発想にない想定外の意見を受容できない教師の弱さである。教師も常に生涯学習の姿勢で臨み、子供たちにも謙虚に学ぶという後姿を示したい。

(2) 下記の資料2の文章と資料3のグラフを読んで、教師としてどう考えるか自分の考えを述べなさい。(120字程度で書いてみましょう。)

**人と違う「笑い」にしない社会に**

中学高校教員 神田 基成  
(神奈川県 41)

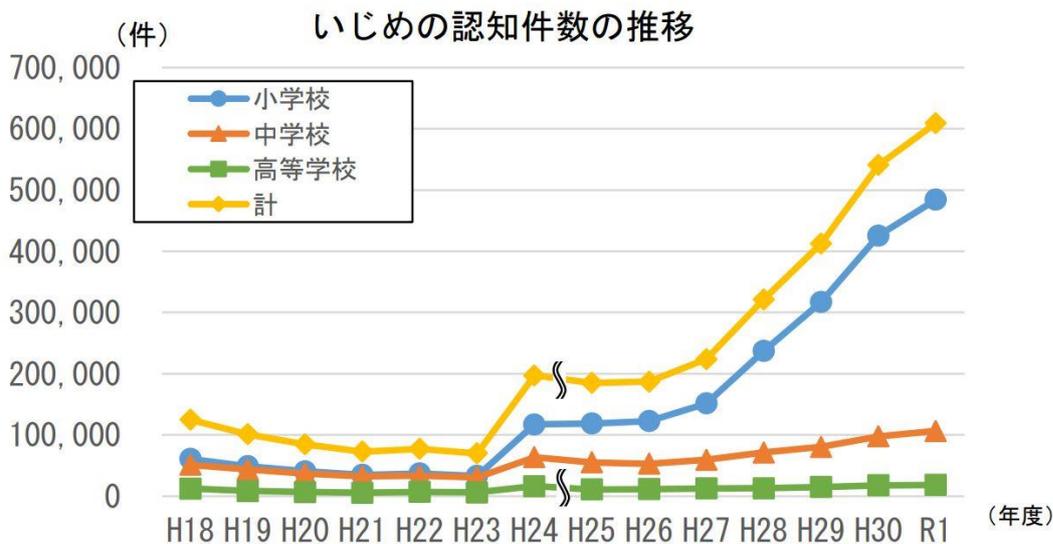
スポーツ選手の子どもの時代を紹介する本紙連載「未来ノート」で、バスケッボール女子日本代表の馬瓜エブリンさんの記事(3月28日)を読んで苦しい気持ちになった。

両親がガーン出身の彼女は周りとは違う外見に苦んだが、「悪口を言われても、認めて、おもしろいことに変えてしまおう、という技」を身につけて頑張ってきた。賞辞を送りたい。だが、考えなければならぬのは、彼女にそれを強いてしまった社会の側のことだ。

周囲にいないだろうか。自分を「デイス」って笑いをとる人が。私たちはその笑いに無遠慮に乗っかっていないか。ひょうきんな人柄は、抱える逆境を自分なりに受け入れるための方法なのではないか。多様性を認める成熟した社会ならば、自分のルーツや外見、性差、障がいなどを笑いに変える必要はないだろう。もちろん言いたくないことは公表しなくてよいが、人と違うところが強みになる社会を作っていきたい。まずは学校を、多様性を学び、差別をなくしていく場にしていかねばならない。悩みを経験された方から生徒が学ぶ機会も設けていけたらと、エブリンさんの記事を読み考えた。

資料2

朝日新聞 R3年4月20日朝刊より



資料3

文部科学省 「令和元年度 生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」より

(白亜の会 木村夏子、上原行義)